

事業所名	クリエバ（放課後等デイサービス）	発達支援の5領域との関連性を明確にした クリエバ療育プログラム	作成日	2024年	9月	1日				
法人（事業所）理念	「ソーシャルインクルージョン社会の実現」 福祉＝人権を最も必要としている”社会的排除を受けている人々（受ける可能性の高い人々）”を支援し、エンパワーすることです。そして、個々の支援にとどまらず、排除を生み出す社会をも改革するための力となるような取り組みを、他に先駆けて実践していきます。									
支援方針	<p>①子どものライフステージに応じた切れ目ない支援 子どもは、生まれてから大人になるまでの間、さまざまな成長や変化を遂げます。その中で、子どもが安心して成長し、自立していくためには、ライフステージに応じた切れ目ない支援が必要です。ヒューマンライツ福祉協会では、子どもの年齢や発達段階、ニーズに応じて、さまざまな支援サービスを提供します。また、子どもたちが幼児期から成人期まで一貫した支援を受けられるよう、関係機関と連携した支援にも取り組んでいきます。</p> <p>②子どもの強みを発見し可能性を伸ばすエンパワメント支援 ヒューマンライツ福祉協会では、子ども一人ひとりの強みを発見し、その可能性を伸ばすことを支援の目標としています。そのため、子どもとスタッフの信頼関係を築くことを大切に、子どもの個性や特性を尊重し、子どもが自ら考え行動できるように支援していきます。子どもが自分の強みや可能性に気づき、自信を持って行動できるように、また子どもの自己肯定感を高め、自らの力で困難な状況を乗り越え、立ち直る力を育みます。</p> <p>③子どもを中心に家族や保育・教育機関等との協働による支援 ヒューマンライツ福祉協会では、子どもを中心に家族や保育・教育機関等との協働による支援を重視しています。子どもの支援は、子ども自身だけでなく、その家族や周囲の環境も含めて考えることが大切です。そこで、子どもを中心に、家族や保育・教育機関等と連携した支援を行っています。また、積極的に地域のネットワークに参画して、子どもたちが地域の中で安心して成長できる環境づくりにも取り組んでいます。</p>									
営業時間	9時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	なし	
プログラム	支 援 内 容									
個別相談 個別支援	<p>①心理検査 不登校の原因をより深く理解するために、心理検査を実施します。客観的なデータに基づき、お子さんの個性を理解します。不登校の原因を探り、今後の支援の方向性を定めます。より効果的な個別支援計画を作成します。</p> <p>②個別面談 お子さんと保護者の方と個別にお話しをさせていただきます。学校生活や家庭での様子、悩み事などをじっくりとお聞きします。お子さんの気持ちや考えを理解し、共感します。心理検査の結果をわかりやすく説明し、今後の支援についてご説明します。</p> <p>③個別サポート 個別面談で作成した支援計画に基づき、提示・信頼関係・お子様一人ひとりに合わせた学習支援、コミュニケーション支援、興味・関心のある活動など個別のサポートを行います。</p>									
本人支援（不登校支援）	共通事項	<p>不登校の子どもたちへの支援として、ソーシャルスキルトレーニング（SST）、学習支援、居場所づくりという3つのプログラムを実施します。これらのプログラムは、発達支援の5領域と深く関連しており、子どもの発達を総合的に支援する上で重要な役割を果たしています。</p> <p>各プログラムが5領域に与える影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルスキルトレーニング 言語・コミュニケーション：挨拶、会話、感情表現など、コミュニケーション能力の向上を図ります。 人間関係・社会性：ロールプレイやグループワークを通して、協調性、共感性、問題解決能力を養います。</li> <li>・学習支援 認知・行動：問題解決能力、学習意欲、集中力を高めます。 健康・生活：学習と休息のバランスを調整し、健康的な生活習慣を身につけます。</li> <li>・居場所づくり 人間関係・社会性：共同で活動を行い、協調性やリーダーシップを育みます。 運動・感覚：体を動かす活動を通して、運動能力の向上と体力づくりを支援します。</li> </ul>								
	ソーシャルスキルトレーニング	<p>ソーシャルスキルトレーニング（SST）とは、対人関係や社会生活を円滑にするために必要なスキルを身につけるための訓練です。ロールプレイやグループワークなどを通して、挨拶、会話、協調性、感情表現など、様々な社会的なスキルを習得します。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や自己紹介：適切な挨拶の仕方や、自分のことを相手に伝える練習</li> <li>・会話の練習：質問の仕方、相づちの打ち方、自分の意見を伝える練習</li> <li>・感情表現：自分の気持ちを言葉で表現する練習</li> <li>・問題解決：問題が発生したときの対処法を学ぶ</li> <li>・ロールプレイ：様々な場面を想定したロールプレイを通して、実際の場面での行動を練習</li> <li>・グループワーク：他の参加者との共同作業を通して、協調性を学ぶ</li> </ul>								
	学習支援	<p>不登校の子どもたちが安心して学び直し、復習、予習に取り組めるよう支援します。子どもたちひとり一人の状況に合わせて、学習量、難易度、休憩時間などを調整し、無理なく学習を進められるようサポートしています。単に問題を解くだけでなく、解き方のコツや効果的な学習方法などを提案することで、学習を通して「できること」を増やし、自己肯定感を高めることを目指しています。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント学習：基礎的な学力定着のためのプリント学習を実施しています。</li> <li>・定期的なアンケート：学習内容や難易度に関するアンケートを定期的実施し、学習内容や方法の見直しを行っています。</li> <li>・学習記録：毎日の学習内容と難易度を記録するシートを作成し、学習の振り返りを促しています。</li> </ul>								
	居場所づくり	<p>不登校の子どもたちが、家や学校以外の第三の居場所として、安心して過ごせる場を提供することを目的としています。子どもたち自身がやりたいことを企画し、準備、実施することで、居心地の良い空間を共同で作り上げることを目指しています。様々な活動を通して、社会性、自己理解、感情のコントロール能力の向上を支援します。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたいことの企画：子どもたちの興味関心に基づいた活動企画を促し、アイデア出しのサポートを行います。</li> <li>・準備：活動に必要なものを調べ、予算内で効率的に購入する計画を立てます。</li> <li>・買い出し：予算内で必要なものを購入し、お金の管理能力を養います。</li> <li>・実施と片付け：活動の実施だけでなく、片付けなど周囲への配慮も促し、社会性を育みます。</li> <li>・多様な活動：調理実習、ボードゲーム、季節のイベントなど、様々な活動を通して、興味関心を広げ、新たな発見を促します。</li> </ul>								
本人支援（小学1年生）	小学校1年生プログラム	<p>お子さんの成長を心から応援しています。5歳児療育から小学校への移行は、お子さんにとって大きなステップです。このプログラムでは、お子さんが小学校生活を安心して送り、自信を持って成長できるよう、少人数制で丁寧なサポートを行います。小学1年生プログラムは、発達が気になるお子様がスムーズに小学校生活を送れるよう、発達支援の5領域を踏まえ、①ライフスキルサポート、②学習（宿題）支援、③友だちと遊ぶという3つの柱で構成されています。</p> <p>①ライフスキルサポート： 人間関係・社会性：友達とのコミュニケーション、ルールを守る、順番を待つなど、集団生活に必要な社会性を養い、人間関係・社会性の領域を促進します。</p> <p>②学習（宿題）支援： 認知・行動：計画的に学習する習慣を身につけ、宿題などをスムーズにこなせるようにサポートします。</p> <p>③友だちと遊ぶ： 言語・コミュニケーション：友達との遊び、会話を通して、言葉の理解力や表現力を高め、言語・コミュニケーションの領域を促進します。 人間関係・社会性：グループ活動を通して、協調性や共感性を育み、人間関係・社会性の領域を促進します。 運動・感覚：体を動かす活動を通して、運動能力の向上と体力づくりを支援します。</p>								
その他	<p>■本人支援の個別化 上記はあくまで一例であり、個々の利用者の状態やニーズに合わせてプログラムは個別化されます。</p> <p>■保護者への情報提供 定期的に保護者へ療育プログラムの進捗状況や課題などを共有します。</p> <p>■地域連携 必要に応じて、学校、行政、福祉サービス事業者などと連携し、より効果的な支援を提供します。</p>									
家族支援	①こどもの信頼感を育み、家族や周囲の人と安定した関係を形成するための支援 ②家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ③こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ④心理的カウンセリングの実施 ⑤保護者同士の交流の機会の提供 ⑥こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、ペアレント・トレーニングの実施 ⑦家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供			移行支援			①具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価・支援 ②具体的な移行先との調整 ③移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達 ④家族への情報提供や移行先の見学調整 ⑤移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ⑥移行先への相談援助 ⑦進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助 ⑧併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有 ⑨併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整			
地域支援・地域連携	①こどもが通う保育所等や通う予定の学校・放課後児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助 ②児童発達支援計画の作成又は見直しに関する会議の開催 ③こどもを担当する保健師や、こどもが通う医療機関等との情報連携や調整 ④こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携 ⑤虐待が疑われる場合には、児童相談所やこども家庭センターとの情報連携 ⑥個別のケース検討のための会議の開催			職員の質の向上			①発達気になる子どもの研修の実施 ②OJTの実施 ③発達障害等のスーパーバイズの実施 ④情報共有の促進（職員会議、事例検討会など） ⑤1on1ミーティング、職員評価制度の導入			
主な行事等	西成区保護者会SUNO、発達障害等にかかわる研修会の開催、療育プログラム体験・見学会、ピアサポート など									